

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年10月4日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者9,701人以上、負傷者1万7,748人以上 (UNOCHA9月24日)

- 「ウ」軍東部作戦区報道官は、**東部リマン及びクピャンスク方面で露軍が「ウ」防御突破を試みた**が、損害を受け撤退したと発表 (9月30日)
- 「ウ」軍参謀本部は、露軍が**ヴェルボヴェ西部を攻撃してきたが不成功**に終わったと発表 (10月1日)
- 露国防省は、露軍がクピャンスク正面で**「ウ」軍第41機械化旅団の武器庫を破壊**した旨発表 (10月3日)

- ゼレンスキー大統領は、前線視察のため、北東部クピャンスクやリマン正面で作戦中の3個旅団を訪問**、旅団長や大隊長らと戦況について協議したと発表。また、同正面所在の第21機械化旅団訪問時に、ドイツ製の**レオパルド2戦車**及びスウェーデン製の**CV90歩兵戦闘車**を視察した旨発表 (10月3日)
- 露国防相は、「ウ」での戦闘のための**追加動員は計画していない**と表明。また、**今年に入ってから33万5,000人以上、9月だけで5万人以上の人員が軍や志願兵部隊での戦闘に加わる契約**を交わしたと発言 (10月3日)
- NATO軍事委員長は、対「ウ」弾薬供給について、「欧州の兵器や弾薬の倉庫が半分かそれ以下の状態から「ウ」への供与を始めたため、**在庫が底を突きつつある**」とし、**産業全体で大幅な生産増が必要**と指摘 (10月3日)



- 「ウ」空軍は、オデーサ、ミコライウ及びヴィンニツァ州に飛来した無人機**「シャヘド-131/136」×40機中30機を撃墜**したと発表 (9月30日)
- 「ウ」空軍は、ハルキウ、オデーサ、ザポリヅジャ及びチェルカーシ州に飛来した無人機**「シャヘド-131/136」×30機中16機を撃墜**したと発表 (10月1日)
- 「ウ」国防省情報総局報道官は、「ウ」無人機**×3機が露国内スモレンスク州所在の空対地ミサイルKh-59を製造する工場に命中**し、工場の**生産活動に重大な損害**をもたらしたと発表 (10月1日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等